

1. 件名：川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年1月16日（月）13時30分～14時25分

3. 場所：原子力規制庁9階C会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：大島原子力規制部長、内藤安全規制管理官、佐口主任安全審査官、鈴木安全審査専門職
名倉安全規制調整官※

九州電力株式会社：執行役員 大坪土木建築本部長ほか5名

常務執行役員 原子力発電本部 林田副本部長ほか2名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 川内原子力発電所1号炉及び2号炉標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について（今後の検討方針及び審査スケジュール）
- ・「震源を特定せず策定する地震動」に係る審査で想定されるプラントへの影響について

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|--|
| 0:00:02 | はい。それでは時間になりましたので九州電力玄海川内の標準ほどスペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定これの今後の検討方針審査スケジュールということで、 |
| 0:00:15 | 九州電力の方から資料を提出いただいておりますのでまずこちらの説明の方をお願いいたします。 |
| 0:00:23 | はい。それでは九州電力の明石でございます本日はお時間ちょうだいいたしましてありがとうございます。 |
| 0:00:29 | 早速でございますが、昨年、審査会合でご指摘いただいた成田所も踏まえまして、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価、これについてまずは地下構造モデルについての |
| 0:00:41 | 今後の検討方針と審査スケジュールを、パワーポイントの形でまとめさせていただいてる資料で、さらに、プラントへの影響がどうなるのかということについて、 |
| 0:00:52 | A4 縦でまとめております資料で順次ご説明をさせていただきます。 |
| 0:00:57 | では早速パワーポイントの方の資料1枚めくっていただきましてページ番号1枚目まずは、玄海について、ちょっと軽い方と申し上げると語弊がありますけども先に玄海の方、 |
| 0:01:08 | について方針立てをご説明しておりますけれども、1ページ目前回会合でのご指摘が何だったかという認識についてはこのページの左下の図、 |
| 0:01:19 | 先に右側の図をご覧くださいますと、追加ボーリングウーの伝達関数を見てみますと、0.5秒付近にピークが見られると。 |
| 0:01:30 | これが観測記録、左側のグラフの、こちらの方にはないんですけどもこれ、この0.5秒付近の追加ボーリングウーに見られる特性、これが適切に評価できていないと。 |
| 0:01:44 | いうことを踏まえて検討するよというご指摘であったというふうに認識しております。 |
| 0:01:48 | これにつきましては2ページ目に行ってくださいますと、その後分析を行いました結果、この追加ボーリングのこの0.5秒付近のピーク。 |
| 0:01:59 | これがあって、観測記録にはなぜ見られないのかということ进行分析した結果といたしましては、ボーリング調査結果の伝達関数を計算したときの、 |
| 0:02:09 | 計算の条件、これが左側の方、下の図の左側の方にボーリングモデル9Gワンというふうに書いてますけども、このモデルで表しておりますように、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:02:19 | ボーリングを掘った結果としてのV sの1550に対して、E L-200メートル下、これは既許可のモデルの値を流用して2100ということで、 |
| 0:02:32 | 結果このモデル上、1550と2100の間に、A V Sせん断速度の急変部が生じておりました、この急変によって、 |
| 0:02:43 | 0.5秒のピークが出ていたと、いうことを確認しております。これが1050から2100急変するのではなく、なだらかだったら、 |
| 0:02:53 | どうなるかという検討をして、こういうピークは生じないということをは確認を、そこまでの確認を行っておりますが、しかしながら、ボーリング調査結果をやる中でやっぱり0.5秒付近に、 |
| 0:03:06 | 何がしかあるかもしれないというところが生じたところも踏まえまして、当社判断といたしましては、この-90メートルよりも深いところ、ここに何かあるかもしれないということで、 |
| 0:03:19 | 保守的にこの地震計よりも深いところ現状、図では青枠で囲っておりますけども4%という減衰をもう少し小さい値に見直すという方針で臨みたい、望みたいじゃ臨むと。 |
| 0:03:33 | いうことを判断をしております。 |
| 0:03:36 | それらの検討を踏まえた今後のスケジュールが3ページ。ちなみに、これまでのスケジュールがどうだったかということを示しておりますけども、 |
| 0:03:46 | 今回、先ほどのページの方針を踏まえた検討について、 |
| 0:03:51 | 先ほど口頭で申し上げた、そのピークが生じた原因はこれこれこうでしたということをもう取りまとめた資料を取りまとめて、 |
| 0:04:01 | これ赤三角印で、1月の末ぐらいに書いてますけども具体的な日付としてはもう今週金曜日、1月20日の金曜日には、このピークが生じた原因等をまとめた資料をお出しさせていただいて、 |
| 0:04:15 | 会合に臨みたいというふうに考えております。なおそれよりさ、後にさらに2月中旬頃に、参画時資料提出とその後の会合ございますけども、 |
| 0:04:26 | 玄海の地盤モデル、地盤減衰地盤モデルについてのフローペーパー。 |
| 0:04:32 | まとめ資料として整えるとなるとやっぱりちょっと一定の時間がかかるので、これは一方これで資料を出させていただいて、 |
| 0:04:43 | 会合という段取りかなと考えておりますが、ただ限界の方は、論点もそんなに重たくはないと言うと語弊がありますけども、かなりスピード感を持って臨めるというふうには考えておりますので、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:04:55 | こういう今週金曜日に出して、やった後ちょっとどういうスケジュールでできるだけ前倒しで持っていくかということは後程ちょっとご相談させていただければと思います。なお、 |
| 0:05:08 | こういう段取りでいくことによって4ページに比べますと、地震動、地下構造モデルを確定するスケジュールがかなり後ろ倒しになります。 |
| 0:05:18 | それに伴って自動的に、そのあとの模擬地震は、基礎地盤の安定性これも遅れてくるのか、ではなくって、我々とし、いたしましては模擬地震については、方針についてはご了解、 |
| 0:05:31 | をいただいておりますので、もう急ぎ計算結果をまとめて、 |
| 0:05:36 | 3月に資料提出、3月末に審査会合というペースで対応できるように準備を進めましてさらに、最後の地盤安定解析 |
| 0:05:46 | こちらは解析技術者を増員することによって短縮可能というめどが立っておりますので、当初半年程度を要する期間を見積もってたのを短縮いたしましたして、 |
| 0:05:57 | 最終的な補正、申請当初から本年の10月に置いてありましたけどもそれは変更しない形で進めるということで、 |
| 0:06:07 | 経営体制をとっております。 |
| 0:06:10 | 以上が限界でございます。 |
| 0:06:12 | それから川内につきまして次の5ページをご覧くださいますと、 |
| 0:06:17 | 川内については限界ちょっと違いまして、右側の追加ボーリングに0.1から0.2秒付近のピークが見られる、これと同じようなピークが左側の観測記録。 |
| 0:06:31 | 海も0.1秒から0.2秒要はシミュレーションを |
| 0:06:35 | 計算を回るような観測、ウーのピークがあると、いうことが |
| 0:06:41 | ありましてこれについて検討する検討するということのご指摘をいただいていたというふうに認識しております。 |
| 0:06:49 | これにつきましては、6ページ目に行きまして分析の結果これこれと書いておりますけども、次のページ7ページ目をご覧くださいますと、こちらはすでに審査会合、 |
| 0:06:59 | でもご説明しました資料ですけども、上から18.5-18.5メートルから11メートルまでの伝達関数、それから-58.5メートルから11メータ |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:07:10 | マイナス 118.5 メートルから 11 メーターそれぞれの伝達関数の比較を、計算と観測記録と、示しておりますけども、これは会合でも御所ご指摘いただいてたところですけども、 |
| 0:07:23 | 58.5 メートルより上、これは計算と観測記録の合いが比較的余裕、これに対して、118.5 メートルからの場合、特に |
| 0:07:37 | 藤杉 5Hz から 5Hz 付近ですね、結局周期で言うと 0.1 秒から 0.2 秒の周期に相当するようなところで、計算と観測記録の合いが悪い。 |
| 0:07:47 | ここがすなわちピークが、評価しきれてないという要因になってるところでございまして、さらに、118.5 メートルから 58.5 メートルの間でこの傾向の差が出るということは、 |
| 0:07:59 | 118.5 メートルから 58.5 メートルの間に何かがあるというふうに判断をいたしましたので、前のページ、6 ページに戻っていただきまして、 |
| 0:08:09 | 川内の場合は、このウー、 |
| 0:08:12 | -58.5 メートルよりより下、この地盤減衰を見直します。これをもっと小さな値に見直すということで、判断をしております。 |
| 0:08:25 | なおこの地盤減衰を見直した結果、 |
| 0:08:32 | 118.5 メートルから地震計がある範囲での観測事実、 |
| 0:08:39 | との照合確認をするとともに、大事なのは最終的な地盤モデル全体として、このピークをカバーできるような保守的なモデルになっているかどうかと、いうことが大事になりますので、 |
| 0:08:51 | ページといたしましては、飛びまして 8 ページ目になりますけども、下側の図をご覧くださいますと、我々友田他という知見を引っ張っておりますけども、 |
| 0:09:02 | そこでブロックインバージョンを多数の観測記録を用いて行いまして、複数の地震観測記録についての震源特性、さらには、伝播経路特性、こちらを同定しておりますので、 |
| 0:09:15 | それらを用いて、さらに、 |
| 0:09:18 | そこにモデルとしての増幅特性を加えることによって、解放基盤相当の応答はを出しましてそれと、 |
| 0:09:29 | 地震観測記録を見比べるということによって、我々のモデル乙用いた評価が観測事実をカバーできてるかどうかと、いうことを確認すると、いうことを行う。 |
| 0:09:41 | 計画としております。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:09:44 | こちらの仙台の方針に従った今後のスケジュールにつきましては9ページに記載しておりますけども、見た感じのスケジュールは先ほどの玄海と、 |
| 0:09:54 | 同じようになっているかと思えますけども仙台については特に、今週の金曜日に資料をお出しする計画ではございますが、先ほどのページでご説明したような検討方針に従った結果までは、 |
| 0:10:08 | なかなか時間的に厳しいかと考えておりますのでまずはこういう検討方針で参りますと、いうことを今週の金曜日に資料としてお出しさせていただきます、 |
| 0:10:17 | その方針に従った結果を、一方、2月に資料を出させていただきます、 |
| 0:10:24 | 3月2月終わらないで3月初めに、地盤モデルの結果についての議論をさせていただきますというペースで進めさせていただければというふうに考えております。 |
| 0:10:36 | こちら玄海同様、当初計画に比べると、地盤モデルの議論がかなり遅れをいたしますが、 |
| 0:10:46 | 後段の地盤安定解析こちら玄海同様に解析技術者の手配によって、短縮可能なめどが立っておりますので、その計算を注力することによって、 |
| 0:10:57 | 最終的には10月の補正では、開発に臨む方針でございます。 |
| 0:11:04 | 実施の関係については以上でございます。 |
| 0:11:13 | はい。それでは引き続きましてA4縦1枚ものの資料ですね、プラントへの影響についてまとめておりますので説明したいと思います。 |
| 0:11:23 | 現状ではまだ地震動がさま定まってないためですね、 |
| 0:11:28 | 明確に影響は述べられないんですけども、今考えられる地震動レベルが上がった場合の影響について、資料の2ポツのところにもまとめてございます。 |
| 0:11:40 | (1)としてですね、経過措置期間超過によるプラント停止。これ地震動レベルが上がった場合工事物量が増加しますので、当然 |
| 0:11:50 | 評価期間とか、審査期間及び工事期間が長期化するので、 |
| 0:11:56 | 今後、作成される後段の経過措置期限、これの中に収まらないという可能性が一つあります。 |
| 0:12:04 | それと二つ目が、定期検査期間の長期化ということで、 |
| 0:12:09 | これは例えば大型のタンクの取りかえ等の大規模工事が必要となった場合、分割して、定期検査で分割して工事ができないので、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:12:21 | 定期検査期間が長期化するということで、経過措置期間内であってもプラント稼働率が低下するという可能性があります。 |
| 0:12:31 | いずれにしましても1ポツの概要の2段落目に書いてます通り、プラント側としては今後の地下構造モデルの妥当性が確認されて地震動が確認確定すれば、 |
| 0:12:44 | 速やかに設備の影響の方を検討したいと考えております。 |
| 0:12:49 | 説明は以上になります。 |
| 0:12:56 | はい。ご説明ありがとうございました。 |
| 0:12:59 | スケジュールの方は、地震動基準地震動の策定のところまでが概ね1ヶ月遅れそうだと。ただ最終的にはこれは |
| 0:13:11 | 地盤斜面の安定性評価これはできる限り短縮しますとおっしゃったもともとスケジュールの関係でおっしゃっていて、そこで1ヶ月ぐらい取り戻せますよという、そういう図面なんですけど、 |
| 0:13:22 | 今のところ、玄海と川内も今週金曜日ぐらいに、大まかな方針の資料が出てくるということで、ただ、今日聞いた内容に汚れた程度だと、あまり議論も難しいところではあって、 |
| 0:13:36 | 一応例えばその限界でいうところの0.5秒のところの増幅の原因分析だとか、或いは一部の旧地盤減衰ですかね4%減衰のところを、こういう段階的に、 |
| 0:13:49 | ずらしていきますとある程度仕上がりというか、 |
| 0:13:52 | ボード前回からどのぐらい解消されてるのかっていうところはもちろん見える形でヒアリング資料出てくるんですかね。 |
| 0:14:00 | 結局最後の結論結果を見てみないと、来月の次に出てくるものは見てみないとわかりませんだと、そこでまた議論をして、 |
| 0:14:08 | また違うねっていうふうになっても、さて戻りになるので、そこら辺はある程度細かいシェアのまとめ資料レベルの仕上がりっていうのは別にそれは時間かかるのはしょうがないんですけど、 |
| 0:14:19 | 少し先々、答えが少し見えるような形で、今週のものが出てこない、かなり難しいかなというのが、率直な、間の感覚です。 |
| 0:14:31 | はい。今の件もまず限界の方については、今週金曜日お出しする資料の中には、その0.5秒のピークについて、これこれ原因はこれこれこうでしたという検討結果がまとまっておりますので、そこについての |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:14:47 | コメント回答のような資料のイメージになると思いますけどその形の資料は、金曜日にお出しできるように準備を進めております。それから先の最終的な仕上がり、 |
| 0:14:57 | の確認のところまで、追いつけるかということそこはちょっと金曜日に、となるとちょっと厳しいかなというふうには考えております。 |
| 0:15:05 | 一方仙台の方は、まだ先ほど申し上げた減衰を変えながら最終的にカバーできるかどうかという確認。 |
| 0:15:16 | の計算をそれ相応の量がありますのでそれを進めながら、確認を進めているところですので、まさに今週金曜日お出しできるとすれば、まだ結果がついて、 |
| 0:15:27 | ついてこないとちょっと表現悪いですが、方針の形の資料にはならざるをえないかなというふうに考えております。以上でございます。九州電力の明石でございます。 |
| 0:15:41 | すいません。規制庁鈴木ですけども。そうすると、結果がある程度見えてくるのはいつぐらいにするんですかね。資料全体が、すいませんね、スケジュールでいくと。 |
| 0:15:53 | 結果も含めてすべてが出揃うのが、2月の真ん中ぐらいですね。ただ、結果だけある程度結果綺麗なもちろんそのまとめ資料じゃないですけど結果だけであればもう少し早いような気もするんですけど。 |
| 0:16:07 | おっしゃる通りですこれ2月中旬のイメージでまとめておりますのはもうまとめ資料の形で綺麗に整えるイメージでこれぐらいの時間がかかるかなというふうに考えておりますけども、 |
| 0:16:18 | ご指摘いただいたところに対してまさに今日の検討方針で示したやつ、ポイントについて結果がこう、こういう結果が出てきて、こういうふうに判断しますという流れであれば、 |
| 0:16:30 | もうちょっと前倒しで資料をお出しできると思います。ちょっとJ-L I S T E M今週金曜日のヒアリング資料を見て、技術的に我々も確認してヒアリングで聞きますけれども、 |
| 0:16:40 | ちょっともしかしたら2回目のヒアリングの時までに出示してもらおうとか、ちょっとそこら辺は今週出てくる資料を見ながら、これでちょっと方針レベルで議論可能なのかどうか。 |
| 0:16:51 | そこら辺見てからまた判断するべきかなっちゃいかなというふうにはすいません、ちょっと個人的にですけども。 |
| 0:16:56 | 考えてございます。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:16:59 | ちょっとまだ技術的な話は今のところしようがないので、ちょっと川内と玄海でそれぞれ、どういうものかっていうのは、あれ。 |
| 0:17:08 | はい。 |
| 0:17:09 | すいません。ということであります。 |
| 0:17:18 | 規制庁内藤ですけれども、ねまずは地震動レベル感の方だけど今、鈴木からスケジュールの話があったんだけど、中身としてこれをカバーできる限界線ですね論点だけでカバーできるような、地盤モデルが組みそうなのが久米層でないのかとそれ技術的に、適切なものが久米層なのかっていうのが、 |
| 0:17:39 | わからないと、スケジュールやってもしょうがなくて出てきても、結局それじゃ駄目ですよねって話になってスケジュールは全然寄って立ちませんって話だから、そこはまず、まずは中身の話になるんだけど、 |
| 0:17:51 | 限界については、 |
| 0:17:54 | これは、 |
| 0:17:56 | もう、何で0.5秒ぐらいのところが大きくなってるのかっていう原因はわかったという話だったので、逆に言うと原因はわかってることそれ地盤モデルに組み込んだ形で、 |
| 0:18:08 | 今、カバーできてないような形のものを含むをカバーできるような地盤モデルというものは、できそうだというめどは立ったというそういうことでいいんですか。 |
| 0:18:19 | 九州電力の明石でございます玄海の方についてはまず原因がわかったというところについては、先ほど資料の2、2ページでもご説明しました通りこの追加ボーリング、 |
| 0:18:30 | の伝達関数を計算するとき、ボーリング調査結果とそれより深いところ伝達係数関数を計算するその深いところの数字も必要ですので、深いところの数字をどうするかにあたって既存の、 |
| 0:18:43 | 既許可のモデルの2100という値をそのままくっつけたので、1550から2100とか君と、そこに段差が生じたのでそれによって0.5秒というピークが生じていたと。 |
| 0:18:54 | 実際はそんな、ここで急変してるわけではなくてなだらかに変化していると、考えられますのでそのなだらかに変化するような形で計算をし直してみるとこういう0.5秒のピークは生じない。 |
| 0:19:06 | 2、1ページ目の左にあるように観測記録で、このピークが見られない、飯野と同じような状況が、確認することができたということで、 |
| 0:19:17 | ここについては第結局0.5秒。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:19:20 | というピークをカバーするしないという話ではなくて、0.5秒というピークはあくまで計算上の問題であったという確認はできたんですが、しかしながらやっぱこの辺に何かあるかもしれないと。 |
| 0:19:31 | 我々思わなきゃいけないので、この0.5秒を生み出してる可能性がある、90メートルより下、これを4%ではなくもうちょっと小さい減衰に見直すと。 |
| 0:19:43 | いう、 |
| 0:19:44 | 判断をしたというものでそれがAさんなのかになのか1なのかという判断はなかなか難しいとは思いますが、我々としてはもう、少なくともここを4%より小さくするということによって、 |
| 0:19:56 | さらに不確かさを考慮するような形でモデルを見直すという判断をしたというものでございます。 |
| 0:20:19 | 規制庁内藤ですけどそうすると、モデルを組む時のものが原因であってそれは計算上出てる話だから、 |
| 0:20:32 | 全体のモデルは見直さなくてもいいんですけども、念のために、減衰をもうちょっといじりますと深いところもちょっと行って |
| 0:20:45 | 何か全体に上がるのかな。 |
| 0:20:47 | 地震動レベルが上がる形にするという形で今、考えていて、それを、の計算をやってるところね。そういうことです。はい。 |
| 0:21:13 | わかった。規制庁等で方針としてそういうことやってるってのはわかったためどがある程度限界は立ったという。 |
| 0:21:19 | のはわかりました。一方で、 |
| 0:21:23 | 仙台、 |
| 0:21:29 | フィック |
| 0:21:30 | の説明を聞いててもこの6ページの図面を見ても、あんまり何をやろうとしてるのがよくわからなかったんだけど、 |
| 0:21:40 | 58.5から下の減衰4%12.5か何かだったのかな、Q値を、これをもうちょっと、 |
| 0:21:54 | 減衰しない方向の数字に直すってことですか。 |
| 0:22:01 | そうです。 |
| 0:22:03 | モデルの見直し方としてはそういう見直し方です。 |
| 0:22:06 | で、先にそれでカバーできるのかという感触について、すいません口頭になりますけどもお話ご説明させていただくと、まず、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:22:17 | この 58.5 メートルの下の減衰、こちらを小さくすれば、評価結果の短周期側のレベル感、地震動のレベル感は上がってきます。 |
| 0:22:28 | しかし、この 5 ページの例えば左側の①の図であるような、計算、計算がこの赤線ですけれどもこれが持ち上がることによって黒瀬の観測記録をカバーできるまで、 |
| 0:22:41 | 完全に上がるかという、この辺の領域は減衰はそれほどの感度はありませんので、この要は地震計、この |
| 0:22:51 | ①5 ページの①の図、これは地震計がある範囲、A - 118.5 メートル上の |
| 0:23:01 | 計算結果なんですけれども、この範囲だけでカバーしようと思っても、減衰をだから 4 から 3 に 1 度限りなく減衰を小さくしていても、完全にカバーできるウーレベル。 |
| 0:23:13 | までは至らないと、いうことがもう現状感触として確認できております。 |
| 0:23:18 | なので、なのでどうするかという言い方をおかしいですけども、最後 8 ページ目でもご説明しましたけども最終的なモデル。 |
| 0:23:27 | の全体的な評価結果として、この観測記録の 0.21 秒から 2 秒のピークも、カバーできる、でき得るレベルになるかどうかということについては、 |
| 0:23:39 | あくまで見比べる相手は、解放基盤での間、地震観測記録、これに対して、今回我々友田他のインバージョンの検討によって、 |
| 0:23:49 | F、ここの地震についての震源の特性と、伝播経路の特性これを特定しておりますので、この震源特性と伝播経路特性これにサイト特性を、 |
| 0:24:01 | 掛け算すれば、解放基盤表面でどれぐらいの地震動レベルになるのかという計算結果が出て参りますので、この評価結果が地震観測記録、0.1 秒から 2 秒のピークも含めてカバーでき得るレベルに、 |
| 0:24:15 | なってるかどうかと、いうことを、 |
| 0:24:19 | 例えば先ほどの審査会合ではこれを平均レベルということで比較してしまっておりますけれども、それぞれの一つ一つの地震観測記録ごとに、 |
| 0:24:30 | 震源算伝播かけサイト増幅ということで、開封基盤表面の |
| 0:24:37 | 応答は出して行ってそれと観測記録を見比べて、下ができてますと、できてますので言い切るとあれですけどもカバーできてるかどうかという検討結果をお示しすると。 |
| 0:24:47 | いうことを考えているものでございます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:24:50 | ちなみに今感触として、口頭ですけどもお伝えすると、 |
| 0:24:55 | ほぼほぼ、この 8 ページ目のような検討によって観測記録をカバーできるという感触は掴めております。一部まだ組み込みのあるところがありますので、 |
| 0:25:06 | その出込み引っ込みが出る原因は何かというような、さらなる分析考察も進めておりますので、それを含めての、 |
| 0:25:15 | 今後の資料の作りこみと御説明になると考えておりますので、センターの方は、限界よりもちょっと時間がかかるかなと考えているところではございます。 |
| 0:25:25 | 以上でございます。 |
| 0:25:31 | できないとですけども、何をやろうとしてるのかわかったんですけども、でもねそうするとねこれ 8 ページにいつてるような形でやろう。 |
| 0:25:41 | とするとしても、 |
| 0:25:44 | 地震計は観測から 118 メートルまでしかないわけだよねボーリング 200 メートルまでしかないわけ。 |
| 0:25:53 | ですよね。 |
| 0:25:54 | その下の部分のサイト特性ってどうやって合わせ込みをするんですか。 |
| 0:26:03 | それより下の部分の、 |
| 0:26:08 | この計算をするときですね。 |
| 0:26:10 | この計算 8 ページの計算をするときは震源特性と地震基盤相当面に来るまでの伝播経路特性は、我々の検討によってインバージョンによって同定された結果、 |
| 0:26:22 | そこから上はもう我々のモデル、 |
| 0:26:26 | での計算結果。 |
| 0:26:28 | になります。 |
| 0:26:34 | ないですけど、でも出る程度っていうことを、 |
| 0:26:38 | でもさ速度構造とかも含めて、2000 からいじるってこと。 |
| 0:26:44 | 高野やろうってことですか、速度構造 Q 値含めて。 |
| 0:26:49 | すいません。もちろんお願いします。いやだから、いや、ウエートねだからすんとサイト特性としてのところは、今聞いたと地震基盤相当面だから 2000 V S 2000、 |
| 0:27:01 | それから、 |
| 0:27:02 | 上をサイト特性としてやります。 |
| 0:27:06 | ということね。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:27:09 | 地震基盤相当面よりも上ですはい。はい。 |
| 0:27:14 | 我々神姫バスはV s 3000、3000下は0と3000、ほぼこのインバージョンなんかやる時のいわゆる地震基盤、 |
| 0:27:25 | 地震基盤加速考え方の討議になります。 |
| 0:27:29 | ほんで、 |
| 0:27:32 | ここで焦っこむと言ってるけど、だから、 |
| 0:27:37 | これV S構図を、 |
| 0:27:39 | 速度構造自体は、 |
| 0:27:42 | 維持の維持のそっちも1度速度構造もいじりません。はい。地盤減衰Q値だけ一緒。そうですねはい。 |
| 0:28:00 | 刀禰いやそうするとね、これ5ページのところで0に見て、もうわかるように、結構乖離があるじゃないですか。それでQ値だけでいじろうとすると、短周期側が全体的にぐっと上がっていくわけ。 |
| 0:28:13 | ですよ。 |
| 0:28:15 | そうする等、設計側に影響出てくるっていう、そういう理解でいいですかこれ今のやる方針でやろうとしてる。 |
| 0:28:22 | おっしゃる通り減衰はより短周期に行けば行くほど効いて参りますので、この表層の方であっても減衰を小さめにとっていけば、より短周期になるほどはね、はね上がっていきまして言い方おかしいですけども、 |
| 0:28:35 | 地震のレベルとしては上がっていきます。で、我々、感触として、なんで、これほぼカバーできる見通しがありますと申し上げたかという、 |
| 0:28:48 | これ5ページの①の左側の図、観測記録と計算の結果、これは地震計N R 1、要は-118.5メートル、ここに同じものを入力した時に、 |
| 0:29:04 | 観測記録はこうなってる、計算結果はこうなってるという比較なので、0.1秒から2秒のところこれぐらいの差乖離がありますけども、 |
| 0:29:14 | 実際に118.5メートル、ウーでの観測記録と、118.5メートルに至るまでの震源特性伝播経路特性でサイト増幅特性を、 |
| 0:29:27 | 計算するとそもそも118.5メートルに至った時点で、観測記録よりも |
| 0:29:34 | 何か計算結果の方が上回る結果にはなっておりますので、結果、 |
| 0:29:41 | 我々がず、118.5メートルまで深い方に設定してるモデルの保守性も相まって、結局解放基盤までの計算結果と見比べると、 |
| 0:29:53 | 0.1秒に1秒から2秒のこれぐらいのピークをカバーできるレベルに至ると。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:30:00 | というような計算結果になると、すみませんちょっと説明ぶりがうまくないですけども、 |
| 0:30:22 | 規制庁の相田ですけど、やろうとすることのイメージわかるいや結局だから 50 んと、これ幾つって入れてるんだ、地震計で使う 118 から下の部分。 |
| 0:30:36 | の、 |
| 0:30:37 | 減衰というか増幅。 |
| 0:30:40 | ふうを考慮してないからこれだけのカバーが出てから、下から入れてあげると下の部分で増幅される部分で、ある程度カバーできるからそれとの合わせ技で感等、 |
| 0:30:51 | 増幅減速感が下水考えると、愛想。 |
| 0:30:55 | あうではないかってことで下下まで入れてあげると、そうするとね今地盤減衰率 4%としてるところに 100 までしてるんだけど、 |
| 0:31:05 | ただこの四角で各 8 ページで四角で囲っている 58.5 から 200 までの間のこの地盤減衰をいじっていかうという、そういうことを考えている、そういう理解でいいですか。はい。 |
| 0:31:30 | 秋月ですけど。 |
| 0:31:32 | そうなんですか。何となく結構難しそうないではないんだけど、下限界はね、割と単純という方いっちゃうんだけど、ある程度目星ある。 |
| 0:31:45 | わけであって、大丈夫そうかなとあと計算結果見たらあんまりやっぱ大丈夫でしたねって話になるかなって気もしないではないんだけど。 |
| 0:31:54 | 仙台はちょっとかなりきついんじゃないかなって気はしないではないんですけど。 |
| 0:32:00 | 九州電力の明石でございます先ほどちょっとちらっと大口で感触として申しあげましたけども、この 8 ページのような形で計算検討が可能な地震観測記録が、 |
| 0:32:13 | 15 の観測記録がございます。そのうちの現状の感触として 12 の地震、12 個の地震は、計算結果が地震観測記録をカバーすると。 |
| 0:32:25 | ということが確認できております。で、あと三つについては一部地震観測記録の方が、計算結果よりも大きくなるという結果になっているんですけども、その、何でそうなってるのかという分析を今進めてるところですが、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:32:40 | ちょっと細かい話になってくるんですけども、このブランドブックインバージョンをする中で特に震源特性を出す中でこれ、特に方位的な特性を持たない。 |
| 0:32:50 | 一律の震源特性を見積もっておりますので結果、断層の向き方位による伝播経路特性、ごめんなさい、破壊伝播特性、 |
| 0:33:00 | 震源特性として見積もりでないと、この計算結果より観測記録が上回ってしまってるものについては、 |
| 0:33:11 | 結果、 |
| 0:33:15 | 伝播経路特性を、伝播経路特性を小さめに見 |
| 0:33:19 | られてない震源特性を小さめに見てることが、破壊伝播特性を見積もりでないので震源特性が小さめになってしまっていて、であるがためにその分の差分が、 |
| 0:33:32 | サイト増幅特性に乗っかってきてしまっているものでモデルで計算するとちょっとその部分が足りない、足りないという言い方おかしいですけども追いつかないと。 |
| 0:33:42 | いうことになってしまってますので、 |
| 0:33:45 | これ、もう、美瑛どこかで計算結果をご覧いただくのが一番早いと思うんですけどもこのさ、今申し上げた観測記録が、計算結果を上回ってしまうのはかなり極端な売り方をしてるので、 |
| 0:33:59 | これ何でだろうと思って見てみると、観測記録、当社サイトだけではない周辺の、いろんなところの観測記録と見比べを見てみると、かなり明瞭な破壊伝播特性が乗っかっておりまして、 |
| 0:34:11 | それを考えると、破壊伝播特性が、乗っかっているがためにシミュレーションとのシミュレーションというか計算との合い具合が大きく乖離するようなことになってしまってるんだろうと。 |
| 0:34:23 | いうふうに判断をされます。先ほど申し上げたような、15のうちの中には、観測をカバーできる残り三つがカバーできない、できてない状態なんですけどその残り三つはいずれも、 |
| 0:34:35 | そういう破壊伝播特性は、がかなり国出てるものでございまして、そういうところ、特性があるということのを合わせて考えると、 |
| 0:34:48 | この8ページの検討によって、ほぼ観測記録を計算はカバーできるという、そういう結果に至るといふふうに考えております。 |
| 0:34:58 | 以上でございます。 |
| 0:35:19 | ちょっとこの場合は |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:35:23 | まさに方針立てとしての議論だと思しますので、なかなかちょっと技術的な資料を出して説明するのは難しいところでもありますけども、感触としては8ページの |
| 0:35:33 | 推しによって、お示しすることができる感触がほぼほぼ終わられているというふうにご理解いただければと思います。思いますただし、関数記録の数先ほど申し上げた通り、15の観測記録がありますのでちょっとそこを、 |
| 0:35:46 | その計算結果を計算結果のチェックをしながら待つてまとめていくには、ちょっと時間がもうちょっとかかりそうだとこのところでございます。 |
| 0:35:55 | はい。規制庁ナイトウわかりました。だから、逆に言うとだから、大体の15は、 |
| 0:36:04 | 12地震は合っているのかな。 |
| 0:36:07 | で、三つ合わないんだけどそれは、震源特性が、特異な震源特性だからという分析をしているっていう。はい。はい。 |
| 0:36:19 | ご理解でそういうご理解であればその説明がちゃんとできるようなデータをつけてもらわないと話が進まないのそこまでちゃんとつけてもらわないとということだと思います。はい。 |
| 0:36:33 | 今ちょっと震源特性のところの分析結果もつく含めて、もう感触替えられておりますので急ぎちょっとご説明できる形にしっかりまとめる、作業を進めているところでございます。 |
| 0:36:49 | 他にもそんなとこ、規制庁ないですよ。そうすると、だからさっきスケジュールのところ、川内は、いや限界はある程度1月20日に出てきて、2月の |
| 0:37:01 | 中旬でフルスペックっていうか、のものが十分間に合う形で出せそうだっていうのはわかるんだけど、限界は、今の感じで聞くと、 |
| 0:37:13 | もうちょっと遅れそう。 |
| 0:37:15 | ですよ。 |
| 0:37:19 | あ、九州電力の明石でございます。確かにちょっとし、作業のボリューム感もありますので、2月中旬西山原価と同じようなペースで2月中旬に資料を出すような、 |
| 0:37:32 | かなりちょっと我々頑張らなきゃいけないところがあるというふうには認識はしております。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:37:36 | ただもうこそれまでの間に計算やってみて、あれという形にはもうならないだろうと思っておりますので、あとはいかにマンパワーを投入するかということと、 |
| 0:37:46 | 急ぎすぎて間違いのあるような結果にならないようにしっかりチェックをするということだろうと考えております。で、限界をしっかりと先行させて、原価をまずしっかり進めるという、 |
| 0:37:59 | 形になりますと、要は、まずはちょっと原価に軸足を置くような形で臨めばちょっと仙台が一方くれになる可能性はあるかなとは思っています。 |
| 0:38:12 | すいませんちょっと何が言いたかったのかって話になりましたけども、おっしゃる通り、仙台がちょっともうちょっと遅れる可能性はくはないとは思っております。 |
| 0:38:22 | はい規制庁内藤ですけど、えっとね、限界がある程度目星立っていてスケジュール通り進め、多分進めそうな感触は今受けたんだけど、 |
| 0:38:34 | 一方で川内で何か物が何かあってね、それでそれによって限界も引きづらいつと遅くなるようなことは避けて欲しい。だから仙台の作業をやっていく中で限界よりも遅れるのであれば、 |
| 0:38:46 | まず玄海から出していくと、並行作業やっていただいて、仙台はちょっと遅れてって構わないんだけど、 |
| 0:38:53 | これをしてもしある話だから、説明できるようなものができる、できたのであれば、もう一つの方に引きずられて合わせて、後から出すっていう形ウーは避けて欲しいんですけども、そこはよろしいですか。 |
| 0:39:09 | はい。承知いたしました。今ありました通り、仙台に引きずられて限界まで遅れていくっていうことにはならないように、まずはちょっと限界をしっかりとまとめて前に進められるようにしたいと思います。 |
| 0:39:32 | すいません規制庁嶋ですけども、今の御あのスケジュールについてね、別の聞き方をする、同じことだけど別の聞き方をするんですけど、 |
| 0:39:44 | 理想的には、同G並行的に、 |
| 0:39:49 | 審査ができればということでこれまで来たんですけども、論点の重みが違ってきたと。 |
| 0:39:57 | で、 |
| 0:39:58 | 今後の作業を、 |
| 0:40:01 | 考えたときに、極端な言い方をするとね、限界を先行してしまうと、仙台で何かあったときに限界がまた日、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:40:15 | 何ていうんですかね等で戻るといふか、もう1回再検討の発生する可能性があり得るといふか、点をどう考えてるのかっていふのが一つと。 |
| 0:40:27 | それから、実際に作業をしてるのって多分本社側だから、多分あんまりこっちのサイト内のサイトって、 |
| 0:40:37 | スケジュールといふかその進行を変えたからといふてあんまりマンパワー変わらないのかもしれないんですけども一方で、安定性解析のところは、 |
| 0:40:51 | おんなじ、どちらも仙台も原価も同じく、結果的には同じ会社に下請け出すっていふイメージなんですかね。 |
| 0:41:01 | 安定解析を計算自体は原価も川内も同じ会社なんですけど、チームは別で、 |
| 0:41:07 | 形成してますのはい。はい。 |
| 0:41:10 | 別なのね。 |
| 0:41:11 | そうすると、 |
| 0:41:13 | 限界が先にいい。 |
| 0:41:17 | いけば、その分だけ早く安定性解析を始める方がメリットはあり得るといふ理解でいいんですかね。おっしゃる通りです今、玄海川内が同時に走れるように別のチーム同じ会社で別のチームを編成してますけども、 |
| 0:41:33 | 玄海が先行していった場合は、その2チームに分けたものが1チームで、それぞれシーケンシャルに集中できますので、むしろスピードアップできるようなメリットもあるだろうと思ひます。 |
| 0:41:47 | ちょっとその辺もね、これから資料の準備状況ではあるんだけど、限界は多分そんなに、 |
| 0:41:57 | 説明を、そんなに何回もやるというイメージはないんだけど、 |
| 0:42:05 | 仙台の方は、これ、 |
| 0:42:11 | ブロックインバージョン。 |
| 0:42:14 | やってる例て、 |
| 0:42:16 | 来る。 |
| 0:42:20 | んないんだよね何か中身のその妥当性確認委員。 |
| 0:42:25 | やるってなっちゃったら思ひっきり1回かかるよね。 |
| 0:42:30 | 中身聞いて。 |
| 0:42:32 | そうするとやっぱり、どう見ても半周遅れになるんだと思ひますよね。 |
| 0:42:38 | だからその辺も含めて、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:42:42 | どっちかという、仙台の方が先に議論した方が、 |
| 0:42:47 | 委員、いやいや、だから千田猪野が時間かかるからあやめに議論していく、代わりに逆に玄海の方は、一発でしっかりと上げてもらうっていう方が、本当は多分結果的には早くなんだと思うんだけどね。 |
| 0:43:03 | ちょっとその辺ワー担当の審査官等資料の中身の、 |
| 0:43:08 | 説明をヒアリングで確認してもらった上で、ちょっと審査会后、どういう持ち方をした方がいいのかというところは、 |
| 0:43:20 | あって、 |
| 0:43:22 | ちょっと聞いている部分に村、 |
| 0:43:25 | ブロックインバージョン震源特性等を、 |
| 0:43:29 | 伝播経路の特性をどういう形でやってんのかっていうだけで1回かかっちゃう気がするんだけどね。 |
| 0:43:37 | どうなんですかね。ちょっとそれは中身まだ聞いてないかわかんないもん |
| 0:43:40 | どんなことやってんのか。 |
| 0:44:15 | ちょっとそういう点を含めて、 |
| 0:44:21 | よく審査官との間でコミュニケーションを図ってもらえますか。 |
| 0:44:27 | 短縮、安定性解析のところを短縮していただくっていうのは、 |
| 0:44:34 | 先ほど内藤の方からもあったと粒子オシリのある話なので、 |
| 0:44:40 | そこもよくよくなんだけどやっぱり、 |
| 0:44:45 | 急ぎすぎてまた別のミスを誘発するということにならないようにしなきゃいけないので、あまりそのところは慎重にやらないといけないんだと思うんですよね。 |
| 0:44:56 | はい九州電力中瀬承知いたしました。 |
| 0:44:59 | 極力急ぎつつ分、くれぐれもそういうミスはないようにしっかり進めて参ります。はい。ありがとうございます。江藤規制豊島ですけれども。 |
| 0:45:11 | これ、こっちの中身、質問事項他にある。 |
| 0:45:15 | ちょっと別の方に入っちゃうけど、 |
| 0:45:20 | 大丈夫。あとそれからですねプライムプラントへの影響についてなんですけれども、 |
| 0:45:28 | これはうちで言うと別チーム、企画課の方でやってる話でこの前A T E N Aを通じてやらせていただきましたけど、 |
| 0:45:39 | ちょっとことバーの使い方の語弊があるようで、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:45:46 | 許可のところはもうすでに決まってる、設工認及び検査というか証明確認の関わる部分に係る経過措置の考え方っていうのは、 |
| 0:46:01 | 具体的にそれぞれのプラントさんでどういう課題があるのかというものを聞きして、それに要するに、 |
| 0:46:11 | 要する時間日数というものを聞いた上で、具体的には我々としても、委員会にこういう形でどうですかっていうのを上げるという形で決まってから聞きますよという話なのでここに書いてある |
| 0:46:28 | 収まらない可能性があるというそもそもを様。 |
| 0:46:32 | おさまら収まるように設定するという事ではないんだけど、合理的な範囲内で経過措置を決めるということになってるので、むしろどういう要因が出てくるのかっていうのは今ではまだ決まってないと思うけれども、 |
| 0:46:50 | そこをしっかりと整理をしていただいて、また、前回あったように、事業者意見交換やりますから、その時に説明を聞いて、 |
| 0:47:00 | 我々としては委員会の方に、具体的にこれこれという考え方で経過措置を定めていただきたいと思いますけども、ということで、審議をしましょうと。 |
| 0:47:10 | ということになるので、ちょっとこの書きぶりだと何か今もうすでに決まってる、収まらないんですっていうことではないので、ちょっとその辺のところを気をつけてください。 |
| 0:47:20 | で、あえて言うならば、定検期間の長期化っていうのはもちろんあって、どういう機器が工事対象になるのか、もしくは取りかえが必要なのかっていうのはこれ具体的に出てきた段階で、 |
| 0:47:38 | それに要する、何て言うんですかね、工事の難しさとか、 |
| 0:47:45 | 準備とか、 |
| 0:47:47 | それから季節等の影響とかね、そういうところも整理をしていただいて、説明をしていただくと。 |
| 0:47:54 | いう形になるのでそれを合理的な範囲内で整理をしていただいてね、それを確認をさせていただくということになるので、我々の立場からプラント稼働率が低下するっていうのはそれはさ、スルー多少はするんだろうけれども、 |
| 0:48:10 | そこもちょっと定検の時期その他をしっかりと工夫をしていただいて、それから我々の方も、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:48:17 | 指示権を受けた確認というものをしっかりどういうタイミングでやればいいのかというのを、調整をさせていただくということになるんだと思うので、よろしくお願いいたします。 |
| 0:48:32 | 九州電力の田仲でございます。 |
| 0:48:35 | 経過措置の件につきましてさっきの規制委員会の内容も聞かせていただいて存じ上げますので、 |
| 0:48:44 | はい。 |
| 0:48:45 | 速やかに地震動が決まって影響がわかり次第また状況については速やかにご報告させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 はい。以上です。 |
| 0:48:58 | 九州電力の林田です。一言よろしいでしょうか。 |
| 0:49:05 | はい、どうぞ。 |
| 0:49:07 | プラント場合の影響につきましてはですね、まさにその地震動が出ないとわからないってということもありますけれども、いずれにしてもこの前の委員会でもご指摘いただいた通り、我々の |
| 0:49:20 | このうち、次、震源特定せずの地震動が、全体を律速してる形になって、対応的にもいつも後手に回ってる感じになって遅いと。 |
| 0:49:32 | いうご指摘をいただいておりますので、我々としましてはですね、大嶋部長から先般からご指摘いただいているようにできるだけの、 |
| 0:49:43 | その審査会合等もですね、たくさん頻度を上げていただいてやっているやらせていただいているところですけれども、我々としましてもですね委員会でのお話は重く受けとめまして、 |
| 0:49:58 | プラント側、土建側、我々、従前からかなり一体的に一番今までやってきたつもりではありますけれどもさらにですね、 |
| 0:50:11 | その辺を強化しまして、やっていこうということで、実はですね本日付で、プロジェクトチームという形で、 |
| 0:50:21 | 社長の直下でですね、私も今まで通りこういう形でこうやっていきますけれども体制として少しはっきりさせた形を作りまして、 |
| 0:50:33 | 対応を迅速化するというのを機九州電力としても、やっていくということでございます。従いましていろいろ資源の配分等もありますけれども、 |
| 0:50:46 | この辺も含めましてですね、お含みみながらしっかり臨機応変に対応体制の対応をとれるようにしていきたいと思っております。 |
| 0:50:57 | ぜひよろしくお願いいたします。私からは以上です。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:51:03 | はい、ありがとうございます。 |
| 0:51:07 | すいません。あとちょっと今のところでわかったらなんですけど、一応これ、工事郡物量の増加とか来取りかえとかってということで、地震動レベルは変わらないと具体的にどういうものを置くのかってところが決まらないのはそうなんですけど、 |
| 0:51:21 | これ、許可段階の基本設計っていうかあとその基本設計段階の地盤安定性とかのモデル、 |
| 0:51:28 | にはねるレベルのものではないってというのは、ここあたりついているんですかね多分ある程度重量物が多少うん上がったとて、モデル上もっと重いもので評価してましたんでっていう、そこに収まる範囲なんですかね。 |
| 0:51:42 | これも地震動レベル冒険でん何ともしっかりとはありますけども今回、減数を見直して上がるのは、短周期のレベルそれに対して地盤に効いてくるのは比較的ちょっと常識の領域になりますので、 |
| 0:51:56 | 自分で解析即座に効いてくるものではないというふうに考えております。 |
| 0:52:01 | はい。結果に効くというよりは多分入れるモデル、諸元ですよ。建屋とか、重量とかのそちらにもしはねるんだったらば、晴れましたよってところで、 |
| 0:52:12 | 結果を出す前にどこかで、1度も地盤斜面の方のモデルは、方針は、昨年の11月ぐらいに1回聞いてるんですけど、そっからもし変更があるんだったら、 |
| 0:52:22 | 計算走らせる裏で、1回説明していただいてもいいですし、変わらないんだったら、今の許可の中で追いつけるんだったら及ぶという形でやっていただくし、ちょっとそこら辺は抜けないようにしてくださいって忘れられないようにしてくださいっていうそれだけなんですけど。 |
| 0:52:36 | お願いします。九州電力の明石でございます承知いたしましたあんま聞かないというよりも、もしそういうことになったときはすぐ、その辺をご説明できるようにできるようにすぐご説明をいたします。はい。以上でございます。 |
| 0:52:48 | はい、お願いします。ほか、全体を通して何かございますでしょうか。 |
| 0:53:00 | 規制庁嶋でございます後ですねちょっと審査会合以外の件ですみませんけれども、別途委員会でもご覧なつたと思っておりますけれども、短時間のCEO会議を本件について、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:53:15 | お願いをするということで規制企画課の方から日程調整というものが行われていると思います。具体的には |
| 0:53:25 | これまでの取り組みと現状と、それから今後どうしていくのかという話になっていくと思いますし今プロジェクトチームという話もありましたし、 |
| 0:53:37 | 具体的にこの安定性解析のところここはすいません、基本的にはリソースの問題だと思っているので、まさに経営判断としてやっていただくということになる部分も多いと思うので、 |
| 0:53:52 | なかなか信用会議等で技術的な中身で議論が深まるということはなかなか現実的ではないので、むしろ、どういう形の対応を、 |
| 0:54:03 | していくのか、これまでどういうことをやってきたというところの部分も含めてですね、ご説明をしていただくのかなと。で、 |
| 0:54:13 | リスク的には、確かに今、今週金曜日かな、言われてることを踏まえた審査会合を受けた後の方がいいのかなあとは思うものの、 |
| 0:54:25 | それによって使用会議が余りにも遅くなるようであればこれまた本意でも多分ないので、ちょっと、 |
| 0:54:33 | ちょっと言い方変ですけど自然体でそれぞれ準備ができて、対応できるようになったら、開催をさせていただくということをやらざるをえないかなということでもちょっとそれぞれに、 |
| 0:54:46 | 意識はしながらも、日程調整をさせていただくということになると思いますので、ちょっとよろしくお願いします。具体的なCEOの方の中身、どうしていくのかっていうのは、 |
| 0:54:58 | 企画課の方を通じてになりますけれども、最初は私と藤技監の方で何かを見てくるということになりますので、また引き続きよろしく願いいたします。 |
| 0:55:12 | はい。九州電力の明石でございます承知いたしました。すでにもうやりとりさせていただいて調整は進んでるという認識しておりますけれども、こちらの驚見が言いに引っ張られるようなことのないよう仕様会議の方も着々と進めて対応して参りたいと思います。 |
| 0:55:29 | はい。よろしく申し上げます。他に。 |
| 0:55:33 | 何か九州電力さんの方から何かございますでしょうか。あとは、リモートン、ナグラさんは特に聞いてるだけで大事なの。 |
| 0:55:41 | 大丈夫ですかね。特に何か確認があればお願いします。 |
| 0:55:47 | 田村です。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:55:48 | 資料はなくても大体聞いてて、イメージはできましたのでまた具体的な資料が出てきましたら、いろんな問題点とか課題について確認していきたいと思い、思います。従いまして今日は特にコメント等ありません。以上です。 |
| 0:56:03 | はい。九州電力さんリモートで参加されてる方々何かございますでしょうか確認するのは。 |
| 0:56:14 | 本店の方は特にありません。ありがとうございました。 |
| 0:56:19 | んハヤシダでございます。どうもありがとうございます。特段はありません。 |
| 0:56:25 | はい。それでは面談の審査の進め方スケジュールの面談については以上で終了したいと思いますどうぞもお疲れ様でした。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。